

2.6 加古川地域保健医療情報システム(兵庫県加古川地域保健医療情報センター)

【概要】

このシステムは、コンピュータやICカード(カインドカード)を使って、地域住民の健康作りを支援する。兵庫県加古川市、稲美町、播磨町では、加古川市・加古郡医師会などの関係機関と協力して、このシステムに同意し、申込まると、健診や検査の結果、病名や処方された薬などの診療に必要な情報を蓄え、病院や診療所にかかったときに「いつでも、どこでも、だれでも」が安心して適切な医療サービスを受けられるようになる。

【コラム】

加古川地域では、地域住民の健康を守り、より質の高い保健医療サービスの提供を目指し、地域住民のPHD(パーソナル・ヘルス・データ)を一元化し、いつでも、どこでも、誰でもが、良質な保健医療福祉サービスを受けられるように全国に先駆けて、昭和63年から「地域保健医療情報システム」を構築し、順調に稼動しております。現在では、119医療機関でシステムが運用され、17万人を超える地域住民のPHDがホストコンピュータに蓄積されております。これは「地域住民の健康を守り、支援していく」というひとつの目標に向かって、関係各機関が協調し、前向きに取り組んできた成果であると言えます。



(問い合わせ先)

加古川地域保健医療情報センター
TEL:079-429-2100